

感動、交流生んで25年！



みんながリリックの主人公

リリックホールが11月1日で開館25周年を迎えました。鑑賞はもちろん、地域の芸術文化の創造や発表の場として大きな役割を果たす“リリック”。「みんなのホール」をコンセプトに市民と共に成長し続ける施設の魅力や、芸術文化の楽しみを広げる人材育成の取り組みを紹介します。

岡長岡市芸術文化振興財団 ☎29・7715、文化振興課 ☎32・5110

集まり、出会い、つながる

稼働率は
驚異の7割超

公立文化ホールの全国平均が5割台の中、リリックは7割超。年間約4,500件、15万人が利用しています。

多種多様で
専門的な設備

コンサートホールとシアターの2つの専門ホールや、さまざまな芸術文化に対応する10の練習室があります。

利用者同士の
交流の場に

ホール前の開放的なスペースや利用者同士が利用日を相談する会議も、交流を生むきっかけとなっています。

♪♪利用者の声♪♪

換気設備や消毒が万全で、感染禍でもみんなで歌える喜びをかみしめています。幅広い分野の団体と交流できるのも楽しみの一つです。



長岡市民合唱団

長岡交響楽団

響きも良く、気持ちが高まる大好きなホールです。毎週の練習から公演まで、親身に対応してくれる技術スタッフや職員が存在が心強いです。

育ち、育てる

リリックで特に力を入れてきたのが豊かな感性を育む人材育成。演劇の舞台裏見学などのワークショップから一流の音楽家による指導まで、年間20以上の多彩なプログラムを実施しています。その取り組みが評価され、平成30年度には地域創造大賞（総務大臣賞）を受賞。子どもたちの挑戦の後押しや成長するきっかけづくりを行っています。

仲道郁代プロデュース「響き合うピアノ」 音楽の力を学び、高め合う

全国から集まった若者が特別レッスンを通じ、音楽との向き合い方をプロから学びます。



昨年度の受講生
長岡高校2年
清水 健士朗さん

音楽を色や形で表現するワークショップでは、人の感じ方の違いや豊かさに驚かされました。「どうすれば自分の音楽を人に伝えられるか」を考え、演奏するようになりました。

ジュニア育成事業

未来の文化の担い手に

合唱、ミュージカル、弦楽の3分野で小・中・高校生が通年で学び続ける環境を整えています。



長岡少年少女合唱団

団員時代にホノルルで現地の合唱団と交流し、歌で気持ちがつながったときの感動は忘れられません。歌で仲間と一つになる喜びを子どもたちにも伝えていきたいです。



団員から指導の道へ
長岡少年少女合唱団
指導助手 今成 寧音さん

リリック・ジュニアフェスティバル

感動を届ける喜びを

地元で音楽を学ぶ子どもたちが大舞台を経験する場として、開館以降毎年開催しています。4ページへ



ミュージカルの発表。ピアノや弦楽などのステージもあります



初回公演に出演
ピアノ指導者
金子 禎子さん

かつて私も出演したステージに、今は自分の教え子を送り出しています。子どもたちにはホールに響く音の素晴らしさや大勢の前で演奏する楽しさを感じてほしいと思っています。

25年で育まれた人とホールは大きな財産に

開館時から毎年、「澤クワルテット」の公演をさせてもらっています。年々、まろやかさが増すホールの音の響きは、全国でもトップクラス。また、長岡にはクラシックを心から楽しんで、夢中になって聴いてくださるお客様が育ってきていると実感しています。この25年の間に育まれた人やホールは大きな財産です。今後もリリックを拠点に、子どもや若者たちが気軽に芸術に触れられる機会をつくり、芸術文化が一層地域に根付いていくことを期待しています。



▲リリック25周年記念で地元出身のピアニスト大瀧拓哉さんと共演する「澤クワルテット」



東京藝術大学長
澤 和樹さん